学校番号	T0315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化」　（大修館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力である漢字や文の読み取り、古典の基礎を身につけることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む」能力を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く」能力もしっかりと身につけてください。
・古典の時間では古文と漢文の作品に親しむとともに、用いられる語句や用法をしっかりと身につけてください。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになること。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようになること。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」・「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古文に親しむ ［教材］いろは歌・ 古文の言葉と仮名遣い	a：古典を読むために必要な文語の決まりや表現などについて理解している b［ 読 ］:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：歴史的仮名遣いの音読時の発音の変化や特徴などを積極的に理解しようとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・机間巡視 ・音読
	古文に親しむ ［教材］　児のそら寝	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している b［ 読 ］:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができている c：積極的に児や僧の様子や心情を捉え、課題に沿って自分の考えを説明しようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
	古文親しむ ［教材］　十二の「子」文字	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している b［ 読 ］:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができている c：帝と篁とのやり取りを理解し、課題に沿って積極的に自分の考えを説明しようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読
	文化を見つめる ［教材］　足し算の文化	a：常用漢字の意味に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができるとともに、我が国の文化と外国の文化との関係について理解している b［ 書 ］:「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している c：日本文化と外国の文化とを比較し、具体的な事例を挙げながらどのような特徴があるのかを積極的に文章にまとめようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題	・机間巡視 ・課題
2	随筆を楽しむ ［教材］枕草子 春はあけぼの・うつくしきもの	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している b［ 読 ］:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもてている c：筆者のものの見方や感じ方について理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読

	漢文に親しむ ［教材］ 訓読の決まり・格言・再読文字	a:古典を読むために必要な訓読の決まりや表現などについて理解している b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:書き下し文や返り点・再読文字など漢文訓読に必要なことがらを積極的に理解しようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・机間巡視 ・音読
	現代に生きることば ［教材］ 株を守る・蛇足	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができている c:登場人物の心情を理解し、課題に沿って自分の考えを説明しようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
	物語を受け継ぐ ［教材］ 羅生門	a:文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえるとともに、他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができている c:進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして問いに対する自分の考えを客観的に述べ、他者の意見を踏まえながらよりよいものにしようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題	・机間巡視 ・課題
	ことばと生きる ［教材］ コルベ神父	a:文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している b[読]:「読むこと」において、作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めるとともに、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができている c:作品の内容に関して調べたことをレポートにするとともに、積極的に批評や討論をしようとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題	・机間巡視 ・課題
3	物語の広がり ［教材］ 伊勢物語 芥川・筒井筒	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて叙述を基に的確に捉えるとともに、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している c:登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れる心情などを積極的に読み取ろうとしている	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　5　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間